

平成 31 年度 第 2 回 御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会 会議録

日 時： 平成 31 年 4 月 25 日(木)

9:00 ~ 12:00

場 所： 御殿場市役所 東館 3 階

304-306 会議室、第 1・第 2 委員会室

1 出席者

〔御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会 委員〕※敬称略

芹澤 直己、岩淵 貴司、渡邊 恵子、児島 洋美、小宮山 なほみ、鎌野 順子、刈山 祐江、
勝亦 恵美子、立道 佳之、山本 裕一、藤田 明代、芹澤 知輝、鈴木 峻介、宮代 志穂、
勝又 洋平、勝又 美絵

計 16 名

〔御殿場市市民協働型まちづくりアドバイザー〕※敬称略

牛山 久仁彦（明治大学 政治経済学部教授）

〔事務局(市民協働課)〕

田代課長、浅野統括、小長井

2 公開提案会 [9:30~10:57]

〔内容〕

平成 31(2019)年度御殿場市市民協働型まちづくり事業補助金の審査・選考にあたり、各申請団体のプレゼンテーション、質疑応答等を実施。「御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会」の委員 16 名を審査員として、本年度申請のあった市民提案事業 3 事業(新規 1 事業、継続 2 事業)の審査を実施した。

【市民提案事業】

(1) 事業名： 在来作物の伝承事業〔新規(1 年目)※昨年度「はじめの一步事業」〕

団体名： 「みくりや」農と食の研究会

行政担当課： 農政課

〔質疑応答〕

(委員) 資料 1 P4 で、「市内の小中学校や公民館等と協力した教育活動」と上げているが、具体的にどのように行う計画か。

(団体) 昨年度は高根小学校上小林分校の児童(1・2 年生で 9 名)とともに栽培等を行った。今年度も引き続き同分校で播種から収穫まで一緒にやりたい考え。

(委員) 「板妻もろこし」について、通常のトウモロコシとは異なる、残していくべき特徴はあるか。

(団体) 「板妻もろこし」は通常のトウモロコシよりも収穫時期が 9 月頃と遅く、播種も合わせて少し遅

くなる。このため多品種と交雑しないように注意が必要。そもそも大半は飼料用として作られた作物であったが、在来作物として伝え残していくことで、育種などができるようにする必要がある。また、「昔はこのようなものを作って、食べていた」ということを伝えていく、同世代また世代間の交流に資する役割があると考えている。

- (委員) 資料1 P5 事業収支予算書で、「売上」が計上されているが、どのような内容か。
- (団体) 黒大豆の枝豆や里芋の販売等を考えているもので、栽培面積2rのうち、半分は黒大豆にしようと考えている。
- (委員) 「板妻もろこし」それ自体はあまり美味しくなかった昔の記憶がある。製粉して商品開発まで行うということで、結果が大変楽しみ。
- (委員) 資料1 P5 事業収支予算書で、「委託料」として加工料が計上されているが、内容は何か。
- (団体) 「板妻もろこし」のポン菓子を作るための加工代が主で、古沢に在住の個人で専門にやっている方がいるため、その方をお願いする。
- (委員) 資料1 P4 の在来作物の中に「きゅうり」とあるが、どのようなものか。
- (団体) 在来種の「きゅうり」で、短いが良いもの。種から自家採取で栽培しているものを、今年度試験的に栽培する。なお、青はだ大豆についても、黒大豆とは別に栽培する。
- (委員) 鳥獣被害への対策は何か考えているか。
- (団体) 昨年度の栽培時に結構な鳥獣被害があったため、電気柵あるいはネットを張ることを考えている。
- (委員) 事業や生産品の販売について、周知する方法等は考えているか。
- (団体) 市民協働事業として本格的に開始するというので、農政課と協力して、プレスリリースや市広報紙への掲載等も考えていきたい。また、特に高根地区の公民館施設等への資料配布等も行い、多くの方が発表会等に参加いただけるように対応したい。

- (2) 事業名: 御殿場フィルムコミッション支援事業〔3年目〕
- 団体名: NPO 御殿場フィルムネットワーク
- 行政担当課: 魅力発信課

〔質疑応答〕

- (委員) 発表用スライドの最後で、「黒澤映画のロケ地をめぐるバスツアー」が行われたとのことだが、これはどのような流れで実現したのか。
- (団体) 先方(結お〜くらんど(東京都世田谷区))から市へ問い合わせがあり、当団体が参画して実現したもの。
- (委員) 事業計画の中で「御殿場映画まつり」について特に記載がないが、今年度の予定は。
- (団体) 今年度「第3回御殿場映画まつり」を開催予定。その中で、御殿場ロケ作品の上映等を予定している。
- (委員) 現在、フィルムサポーターの登録者が1,500人程度いるとのことだが、この方たちが全員、エキストラ候補者、というわけではないという理解でよいか。
- (団体) はい。あくまでも情報発信のためのメールマガジンへの登録者数で、ロケ情報を得るために登録している方もいる。

- (委員) 今後、事業の継続に向けて財源の確保も含めて取り組んでいくとのことだが、他の自治体ではフィルムコミッションをどのように財源を確保して取り組んでいるのか教えてほしい。
- (担当課) 小山町は、NPO が主体となって活動している。市の補助金のほか、事業者から手配料(コーディネート料)を受けている。
裾野市は、行政が主体となって活動している。
富士市は、民間団体へ委託して事業が行われている。
当市としては、現在は市民協働事業として本事業が行われているが、小山町のように事業者からの手配料をいただく、それが難しければ市が支援する形になるかと考えている。
- (委員) 事業を継続するにあたって、「お金」の話はすごく重要だと思う。現在、手配料はいただいていないとのことだが、これが次年度以降、本当に可能なのか。
- (担当課) ロケツアーの関係については、手配料をいただけることになっていると聞いている。今後、いただける部分はいただく。制作会社としても、他所からエキストラを連れてくるよりは、手配料を払ってでも準備をしたほうが都合がよいとも伺っており、難しい話ではないと考えている。
- (委員) メールマガジンに登録しているが、配信時間が深夜 2~3 時頃になる場合もあり、運営に苦労されているのかとも感じる。
- (団体) 当方の仕事等の都合でどうしても遅くなってしまう場合があり、そのような時間に送られてくることに違和感を覚えた人がいたことも事実。ただ、深夜・早朝に反応をいただける場合もあり、効果的ではないかと考えている。
- (委員) 団体の構成員が最初 4 人で始まり、現在 3 人となっているが、団体の発展性についてどのように考えているのか。
- (団体) そもそも、当団体の活動はロケ受け入れの仕組み作り・運営が主で、現在の規模で十分に継続できると考えており、またロケの受け入れ自体にスピード感が必要な部分もあり、構成員が多くなると、「決められなく」になってしまう恐れもある。なお、映画まつりなどのイベントでは、ボランティアスタッフの手を借りて対応している。
- (委員) 団体の HP を拝見させていただいたところ、最近のロケ情報等は掲載されていたが、過去の例えば「黒澤作品」などの情報はあまり掲載されていなかった。これは著作権等の問題があるからか。シビックプライドの醸成の観点からも、せめて字面だけでも掲載できないのか。
また、活動の継続にあたり、「クラウドファンディング」など上手く活用できるのでは。
- (団体) 過去の名作等の情報掲載は、単純に手が回っていない状況。材料は多くあるため、活用できるものは使用していく予定。また自主財源の確保は、団体内部でも様々な検討を進めているが、お金を集めることになるため、特に慎重に対応しており、引き続き検討していきたい。

- (3) 事業名: HALLOWEEN in GOTEMBA [2 年目]
団体名: 一般社団法人御殿場青年会議所
行政担当課: 商工振興課

[質疑応答]

- (委員) 昨年度の夜の部の出店が少なかったとの説明があったが、今年度も同時期に募集する予定か。日程が決まっているのであれば、特に近年、周辺地域でもマルシェの開催等も多くなっ

てきているため、昨年度出ていただいた方には声掛けをしておくべきでは。

- (団体) 昨年度は事業者への声掛けの時期が遅かったと考えており、その反省を踏まえ、6~7月頃にはお声がけをしたいと考えている。
- (委員) 昨年度は子どもの参加も多く、ぜひ色々と駅前で盛り上げていただければと思う。
御殿場青年会議所が中心となって行っている事業で、なかなか他の企業に声をかけづらい部分もあると思うが、ぜひ色々な団体を巻き込んで、まち全体で盛り上がるようになってほしい。
- (団体) はい。市と協力して、様々な団体とこの事業をやっていきたいと考えている。
- (委員) 資料1 P15 で、開催時間が14:00~20:00となっているが、説明では18:00終了とのことだった。どちらが正しいのか。
- (団体) 14:00~16:00で仮装コンテスト、16:00~18:00でスタンプラリーを行う計画。昨年度は20:00まで開催していたが、参加する子どもたちの安全も考慮し、短縮することとした。
- (委員) 資料1 P15 で、事業の効果・成果として「駅前周辺地域の経済波及」としているが、駅前商店会との連携など、どのようにやっていく計画か。
- (団体) 案として、御殿場駅前のマイロードを歩行者天国としたスタンプラリーなど、参加者の安全も配慮しながら、主に新橋の商店会の協力をいただきながら開催したいと考えている。
- (委員) 本事業はどちらかと言えば親子を主なターゲットとした事業に見受けられ、駅前の商店への経済波及を考えると、飲食店への効果などは薄いように思う。駅前の商店の活性化を考えるとであれば、「大人の部」のような形も考えると、より発展に繋がるのでは。
- (団体) 今年度の事業では、主な対象年齢を低年齢層(子ども)とし、仮装コンテストやスタンプラリーを安全に楽しんでもらいたいと考えている。
- (委員) 参加される親子へのプレゼント・サービスなど、イベントに参加してもらうための工夫(誘因)などは考えているのか。また、かつて御殿場青年会議所でフォトロゲイニングなど取り組まれていて、今回もスタンプラリーで駅前を回ってもらいたいとのことだが、どのような部分を見てもらいたいと考えているのか。
- (団体) 参加者には、お菓子を配る計画。御殿場駅前にも、地元の方も普段訪れないような隠れた商店やスポットなどがあるため、そういったものを楽しんでもらいたいと考えている。
- (委員) 主なターゲットが低年齢層ということで、どのようにイベントの開催を周知する計画か。
- (団体) Facebook等のSNSによる発信だけでなく、子ども会やスポーツ団体など、子どもたちがいる団体に赴いて周知・アピールしていきたいと考えている。
- (委員) 小学校や保育園・幼稚園などへの周知は考えているのか。
- (団体) 具体的な周知・アピールの方法については、実行委員会で検討していきたい。

3 選考会 [11:20 ~12:00]

[内容]

公開提案会でのプレゼンテーション及び質疑応答の状況、申請書の内容、及び公開提案会を受けての採点結果(順位付)、審査員からのコメント等を踏まえ、各事業の内容について協議し、補助金交付の可否や金額の満額・減額について決定。

市民提案事業 3 事業について、いずれも満額で承認と決定した。

【市民提案事業】

- (1) 事業名: 在来作物の伝承事業〔新規(1年目)※昨年度「はじめの一步事業」〕
団体名: 「みくりや」農と食の研究会
行政担当課: 農政課
申請額: 90,000 円

[コメント(審査用紙自由記載欄)]

- ・会員と一部の人の活動と思われる。一般市民を引き込んだ活動に取り組んでほしい。
- ・後継者不足や高齢、獣害の理解のためにも、市民取入れを増やし、今後、若い方々への情報発信を充実させてほしい。(一年目としては提案のとおり頑張ってもらいたい)
- ・今後、教育関係や商業関係など、幅広い分野で関わっていけるものであり、御殿場の食を担うとていい事業になると思いました。一歩ずつ着実に進めてもらいたいです。
- ・伝統作物を継承し、6次産業化も見据えて取組まれるとのこと素晴らしいと感じた。グリーンツーリズムへの展開も期待したい。
- ・ここから3年間頑張って続けて大きくしてほしい。
- ・忘れ去られる作物に着眼したことは、よいと思う。
- ・商品化につながることを期待しています。
- ・農政課との協働をより深め、全市に普及することを期待します。
- ・はじめの一步の経験を踏まえ、事業の展開について検討されている。行政との情報共有、連携を強め、事業のPRにぜひ努めていただきたい。
- ・事業内容は非常に良いと思うし、地場産品を増やすという面でも良いと思う。ただ、市側の役割が少なく、広報やPRだけでは普段市がやっている事と変わらないと思う。
- ・商品化をして販売する際のプレスリリースが重要。今後の収入につなげる。
- ・自然豊かな御殿場にとって大切な取組だと思えます。計画も課題もみえていて、活動が力強く感じます。将来的に商品としてPR・販売を市も協力して行って欲しいと思えます。
- ・研究会の取り組みは素晴らしい、一番の課題はアピールだと思う。2年目があれば、広告費などにもっと充てたらいかがか？
- ・昨年の実績をふまえ、更に事業内容を発展されていると思えます。
- ・規模を拡大し、市外・県外の方へも収穫体験をPRすれば、御殿場の認知が更にアップする。

〔協議内容〕

- (委員) 事業計画、今後の事業スケジュールの記載が大雑把すぎる。今後の事業スケジュールに2020年以降に具体的にどうするのか記載されていない。
- (事務局) 確認する。
- (委員) 鳥獣被害対策として電気柵を設置するのであれば、予算はこれでは足りないのでは。
- (委員) 今回、90,000円で申請いただいているが、もっと取り組みを広く周知するための広告費等を計上してもよかったのでは。
- (委員) 事業費を増やすと、その分、自主財源分も増えてしまうため一概には言えない。とりあえず今年度は、市広報紙への掲載など、お金のかからない方法によって全市民的な周知を図るよう、農政課と協働して進めてもらいたい。
- (委員) 小学校と連携して播種、収穫などを行う場合、何らかの保険など必要になるか。
- (委員) 学校で対応するケースもあるのでは。
- (事務局) 確認する。

〔収支予算に係る指摘・意見〕 特になし

〔選考結果〕

交付の可否: 可

補助金額: 90,000円(満額)

- (2) 事業名: 御殿場フィルムコミッション支援事業
団体名: NPO 御殿場フィルムネットワーク
行政担当課: 魅力発信課
申請額: 270,000円

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・3年目の事業終了後の活動資金不足により、事業継続が困難になる恐れがある。行政の支援が必要であると思います。
- ・団体、行政の双方の思い、ビジョンが3年目を終了した来年度以降もしっかりしており、協働事業としてふさわしいと感じた。団体運営上少人数でという思いの一方、実際に手が回っていない点もあり、団体内部の充実も期待したい。
- ・自主財源の確保が一番重要になってくるけれど、是非同様の規模でこれからも続けていけるような仕組みをこの1年で作っていただければと思います。
- ・ぜひ「ロケのまち御殿場」として対外PRによる経済活性化と市民に対するシビックプライド醸成を実現していただきたい。
- ・ユューチューバーなど^{*}とコラボしてみたら。 ※事務局注: 具体名削除
- ・次年度以降の資金調達も考えており良かった。団体の持続性の点からもう少し人数が欲しい。
- ・行政と市民との協働にふさわしい。こうした取組に対し、資金面以外での行政の協力を希望したい。

- ・次年度以降も事業継続できます様、行政とじっくり計画して下さい。
- ・ぜひ自主財源確保し、補助金終了後も事業を継続できるようなしくみを今年度中に構築していただきたい。
- ・団体については、メリットデメリットがあるかもしれないが、法人化したほうが今後の活動も発展していくと思う。次年度以降の活動費については、この1年間で頑張っで確立してほしい。
- ・メール配信は、常識的な時間に配信するほうが良い。(私自身、夜中の受信が非常識だと強く感じた)⇒信頼がなくなるおそれ
- ・御殿場に新しい魅力と価値をつくったすばらしい団体だと思っています。今年中に自走できるよう、行政の知恵を出しあって取組んで欲しいです。
- ・活動の意義は説明でよく理解できた。今後の財源確保が一番の課題だと感じたので、もう少し詳しい説明、各保安の提示が欲しかった。
- ・事業を発展するには会員を増した方がよいのではないか。
- ・ロケ地巡りのコースが豊富にあれば更に旅行社・団体へのPRが飛躍するのではないか。

〔協議内容〕

- (委員) 継続する上での活動資金の確保について、具体的にどうするという部分はなかったが、これが最優先の課題だと思う。
- (委員) フィルムコミッションの活動資金の確保については、魅力発信課が他自治体の事例を調べられており、把握しているため、次年度以降の計画をじっくり立ててほしい。
- (委員) 公開提案会で「クラウドファンディング」という声も上がったが、活動資金の獲得に向けて具体的に、となると、やはり団体だけではハードルが高い。情報面でも行政が支援・協力していくと、イメージが掴みやすいのでは。
- (委員) 魅力発信課が「地域ねこ活動」の関係でクラウドファンディングを行い、目標額を達成した経緯があるため、支援できるのではないか。
- (委員) 会員数について、現在の規模で良いとの回答があったが、活動の持続性を考えた場合、もう少し構成員が必要になるのでは。
- (委員) エキストラ等の手配料を活動資金として検討していくとの回答があったが、そもそも本事業を始める段階では、「事業者からの手配料等は一切貰えない」との説明を受けていた。各自自治体がフィルムコミッションに力を入れる中で、なかなか手配料をいただいて、というのは難しいかとは思いますが、何らかの財源を確保する方法が必要。
- (委員) この事業を始める頃は、団体側がこの取り組みはボランティア的な性質を強く持っており、対価を得ることに否定的だったが、市民協働事業を進める中で徐々に考え方が変わってきたのでは。
- (委員) 黒澤映画のロケツアーのように、旅行社から資金を調達することも今後の方針として考え、アプローチしていく必要があるのでは。
- (委員) 他自治体では行政が主導してフィルムコミッション事業を行っている事例もあるとのことだが、そもそも本事業を市民協働事業として行うべきなのか。行政が行うべき事業なのでは。
- (牛山教授) このフィルムコミッション事業は、自治体の業務について考えた場合、自治体が法定上どうしてもやらなければならない業務(福祉や道路、水道など基盤的に行う必要がある業務)の中には含まれていない。市民の要望や市長、議会の考え方にに基づき、政策的に行うか行わない

いかを判断するもの。やらないよりはやったほうがいいんだろうが、必ずしもやらなければならないものではない。

そのような中で、市民の側から「フィルムコミッション事業を行いたい」という声を切っ掛けとして行われているのがこの市民協働事業で、今後、行政側が恒常的に政策として実施していくべきだとなれば、行政がより力を入れて取り組むことはあるかもしれない。

ただ、協働で行う市民としても「やりがい」といった側面や、市が全て丸抱えして行う場合も継続性に疑問がある中で、協働という形でそういった試みがあるのであれば、やった方がいいのではないかと思う。

〔収支予算に係る指摘・意見〕 特になし

〔選考結果〕

交付の可否： 可

補助金額： 270,000 円（満額）

- (3) 事業名： HALLOWEEN in GOTEMBA
団体名： 一般社団法人御殿場青年会議所
行政担当課： 商工振興課
申請額： 300,000 円

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・昨年以上の参加者が見込まれるので、ボランティア募集等の対応を検討してはどうか。
- ・団体自体の設置目的が事業と直接イコールとなっていない珍しい例で、団体の御殿場を良くしたい、盛り上げたいという強い思いが伝わってきた。(事業が団体の通常の活動ではない)
- ・子どもが参加できるイベントは親も必然的に一緒に行動することにもなるので、子どもだけでなく大人も楽しめるようなイベントになるように、しかけていくといいと思います。
- ・中心市街地、駅前活性化はまちの発展にとって重要なのでぜひ工夫して頑張ってください。
- ・安全面に注意し活動してください。若いパパ・ママと子供と一緒に楽しめるイベントですが、一部の参加者で終わらせないように。
- ・商店街の活性化につながるかどうかは疑問、駅前のにぎわい創出にはなるかも…
- ・御殿場らしいハロウィンとなる様、実行委員会でしっかり計画して下さい。
- ・補助金終了後の運営について、2年目の段階で見据えていられるのは事業の継続に繋がるのではと感じました。ぜひ様々な組織と連携して盛り上がるイベントにしていきたい。
- ・出店者の確保により、より魅力的なイベントとなる。アピールの方法、商店とのかかわりをもう少し考えたほうが良い。
- ・前回に引き続き、御殿場のイベントとして行政と力をあわせてがんばって欲しいです。将来的には市外からお客様をよべるようになればいいですね。御殿場ならではのハロウィンを。
- ・私自身が昨年参加していないのでイメージがわきづらかったが、昨年の様子を知りたいと思った。御殿場らしさをどのように出していくのかに注目したい。

- ・駅前を使つてのイベント、週末ということで、子どもの参加がたくさん見込まれると思います。
- ・駅周辺のアクセス、渋滞等が問題にならないか。

〔協議内容〕 ※行政担当課に所属する委員が質問に対して回答している部分あり

- (委員) 資料1 P17 事業収支予算書 について、収入の部で、事業者からの出店料は含まれていないが、いただかないのか。
- (委員) 昨年度は出店料をいただかなかったが、今後の事業の継続性も考え、いただくこととする方針。この方針が決まったのが最近のことで、決算書には記載する。
- (委員) 同じ時期に様々な団体でハロウィンイベントを開催しているが、そのようなところとの協力や情報共有などは考えているのか。
- (委員) 昨年度も同様の意見があり、協力してやっていただきたいとの意見があった。昨年度は樹空の森で開催したイベントは合同で行ったが、今回は単独で行うこととなった。ただし、今後の発展を見据え、情報を一元化して、総合的なPRができるようにしていきたいと考えている。
- (委員) 昨年度のイベントについて、結果として成功であったと言えるのか。
- (委員) 昨年度は想定よりも参加者が多く、特に夜の部は別イベントの参加者が立ち寄ったこともあり、参加者に対して出店が少ない状況となった。初回としては課題もあったが成功であったと言えるのでは。
- (委員) 出店者側の満足度はどうだったのか。
- (委員) 昼の部は出店者も多く、分散してしまったかもしれない。出店者については、仲間内だけでなく、商工会青年部とも協力して、より広く出展者を募りたい。
- (委員) 団体としてのカラーもあるため、なかなか難しいかとは思いますが、様々な団体や企業等を巻き込んでいくと、より発展していくのでは。

〔収支予算に係る指摘・意見〕 特になし

〔選考結果〕

交付の可否: 可

補助金額: 300,000 円 (満額)